

## 概要説明書

概要説明書(その1)		※登録No.	2402005A		
新技術の名称	J-PETフェンス		※登録年月日	R7.4.1	
			※変更登録年月日		
副題	ペットボトルの再利用で環境に配慮したフェンス	開発年月	2009.01		
申請概要					
申請者	会社名	JFE建材(株)九州支店			
	住所	〒812-0025福岡県福岡市博多区店屋町1-35博多三井ビルディング2号館7F			
	開発者との関係	支店			
開発者	会社名	JFE建材(株)			
	住所	〒108-0075東京都港区港南1-2-70品川シーズンテラス11階			
従来技術と比べ優れている点	使用済みペットボトルの再利用				
NETISへの登録状況	<input checked="" type="checkbox"/> NETIS登録している				
	工種区分(レベル1、2まで記入)	登録年月日	登録番号	評価結果	
	附属施設	2019.01.15	KT-180109-A	事後評価未実施	
新技術・新工法の分類					
区分	<input type="checkbox"/> 工法 <input checked="" type="checkbox"/> 材料 <input type="checkbox"/> 機械 <input type="checkbox"/> 製品 <input type="checkbox"/> その他				
分類	分類1	分類2	分類3	分類4	
	附属施設	防護柵設置工	立入り防止柵工		
キーワード (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 施工精度の向上 <input type="checkbox"/> 耐久性の向上 <input type="checkbox"/> 安全性の向上				
	<input type="checkbox"/> 作業環境の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 環境保全 <input checked="" type="checkbox"/> 地球環境への影響抑制				
	<input checked="" type="checkbox"/> 省資源・省エネルギー <input type="checkbox"/> 品質の向上 <input type="checkbox"/> 建設副産物の排出抑制				
	<input type="checkbox"/> 経済性・生産性の向上 <input type="checkbox"/> 工期短縮 <input type="checkbox"/> 施工性向上				
	<input type="checkbox"/> 伝統・歴史・文化				
	<input type="checkbox"/> その他				
問合せ先	技術	会社名	JFE建材(株)九州支店		
		担当部署	フェンス・道路商品室		
		担当者	濱田 浩人		
		住所	〒812-0025福岡県福岡市博多区店屋町1-35博多三井ビルディング2号館7F		
		Tel	092-263-1561		
		Fax	092-263-1475		
		E-mail	hamad@jfe-kenzai.co.jp		
	ホームページURL	-			
	営業	会社名	JFE建材(株)九州支店		
		担当部署	フェンス・道路商品室		
		担当者	濱田 浩人		
		住所	〒812-0025福岡県福岡市博多区店屋町1-35博多三井ビルディング2号館7F		
		Tel	092-263-1561		
		Fax	092-263-1475		
E-mail		hamad@jfe-kenzai.co.jp			
ホームページURL	-				

※の欄は、記入の必要がありません。

## 概要説明書(その2)

新技術の名称	J-PETフェンス	※登録No.	2402005A
新技術の概要			
ネットフェンスの金網に使用される被覆材にペットボトルを再利用した樹脂を使用する技術 PETボトル協議会認定・リサイクル推奨マーク取得商品です。			
新技術の概要			
①何について何をする技術か？ ネットフェンスの金網に使用される被覆材にペットボトルを再利用した樹脂を使用する技術			
②従来はどのような技術で対応していたか？ ポリエチレン樹脂を被覆材とした鉄線の金網			
③公共工事のどこに適用できるか？ 屋外公共施設、公園、学校など敷地と隣接する境界を明確にし、かつ視認性が必要な場所の外周柵に適用			
新技術のアピールポイント(課題解決への有効性)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲料水等の容器で使用されるペットボトルを原料とした樹脂を金網の被覆材に使用しました。</li> <li>・金網1㎡あたり500mlのペットボトル5本分の再生樹脂が使用されます。</li> <li>・限りある資源の有効活用が図れるフェンスです。</li> <li>・PETボトル協議会認定・リサイクル推奨マーク商品です。</li> </ul>			
新規性及び期待される効果			
①どこに新規性があるのか？(従来技術と比較して何を改善したのか？) ネットフェンスの金網に使用される被覆材をポリエチレン樹脂からペットボトルの再生樹脂を含有した樹脂に変えた。			
②期待される効果は？(新技術活用のメリットは？) 再生資源を使用することになるので資源の有効活用度の向上が図れます。また廃棄物の減による二酸化炭素の削減が期待できます。			
適用条件			
①自然条件 施工は異常気象(豪雨・突風など)時を避ける			
②現場条件 資材の仮置き、施工スペースとして3スパン当たり奥行約3.5m×延長方向8m＝約28㎡程度必要			
③技術提供可能地域 技術提供可能地域については制限ありません			
④関係法令等 特になし			

※の欄は、記入の必要がありません。

## 概要説明書(その3)

新技術の名称	J-PETフェンス	※登録No.	2402005A
適用範囲			
<p>①適用可能な範囲（公共工事への適用性は必ず記入する。） 視線等を遮蔽する必要がない場所や防音・遮音機能が必要とされない場所のフェンスに適用可能</p> <p>②特に効果の高い適用範囲 主に敷地境界への設置</p> <p>③適用できない範囲 特にないが①に挙げた場所への設置は協議が必要になると思います。</p>			
ニーズへの対応			
<p>①社会的ニーズへの対応 環境配慮商品、リサイクル推奨マーク商品を必要とされる場合</p> <p>②県土整備部発注工事への対応（道路、河川、ダム、港湾、海岸、砂防、地すべり、急傾斜地に関する事業） 敷地境界、進入防止等</p>			
留意事項			
<p>①設計時 標準フェンスへの付属物取付(防風ネット、目かくし板など)の場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度のご確認をお願いします。お問合せのない場合のフェンスの破損などに対する責任は負いかねます。</p> <p>②施工時 当社J-PETフェンスの組立説明書に準じた施工でお願いします。</p> <p>③維持管理時 特になし</p> <p>④その他 塗装可能色はライトグリーン、グレー、ダークブラウンの3色になります。</p>			

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その4)

新技術の名称	J-PETフェンス	※登録No.	2402005A																					
活用の効果																								
比較する従来技術	ポリエチレン樹脂被覆鉄線を使用したネットフェンス																							
項目	活用の効果			比較の根拠																				
経済性	○ 向 上 ( )	<input checked="" type="radio"/> 同程度	○ 低 下 ( )																					
工 程	○ 短 縮 ( )	<input checked="" type="radio"/> 同程度	○ 増 加 ( )																					
品 質	○ 向 上	<input checked="" type="radio"/> 同程度	○ 低 下																					
安全性	○ 向 上	<input checked="" type="radio"/> 同程度	○ 低 下																					
施工性	○ 向 上	<input checked="" type="radio"/> 同程度	○ 低 下																					
環境保全	<input checked="" type="radio"/> 向 上	○ 同程度	○ 低 下	従来の技術と比較してPETボトルの再生樹脂を使用していますので資源の有効活用となる																				
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">基準数量</td> <td style="width:20%;">100</td> <td style="width:20%;">単 位</td> <td style="width:20%;">m</td> <td style="width:25%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">\</td> <td style="text-align:center;">新技術(A)</td> <td style="text-align:center;">従来技術(B)</td> <td colspan="2" style="text-align:center;">変化値1-A/B(%)</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">経済性</td> <td style="text-align:center;">1,145,000 円</td> <td style="text-align:center;">1,145,000 円</td> <td colspan="2" style="text-align:center;">0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">工 程</td> <td style="text-align:center;">3~4 日</td> <td style="text-align:center;">3~4 日</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>					基準数量	100	単 位	m		\	新技術(A)	従来技術(B)	変化値1-A/B(%)		経済性	1,145,000 円	1,145,000 円	0%		工 程	3~4 日	3~4 日		
基準数量	100	単 位	m																					
\	新技術(A)	従来技術(B)	変化値1-A/B(%)																					
経済性	1,145,000 円	1,145,000 円	0%																					
工 程	3~4 日	3~4 日																						

※の欄は、記入の必要がありません。

## 概要説明書(その5)

新技術の名称	J-PETフェンス	※登録No.	2402005A
--------	-----------	--------	----------

## 活用の効果の根拠

## ●新技術の内訳

基準数量: 100m あたり

項目	仕様	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	摘要
VA5PET型 H1200	標準塗装品					
商品費		100	m	6,710	671,000	金網:再生PET線
組立工事費		100	m	2,430	243,000	ご参考
基礎工事費	□180×180×450	100	m	2,310	231,000	ご参考
合計					1,145,000	

## ●従来技術の内訳

基準数量: 100m あたり

項目	仕様	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	摘要
VA5型 H1200	標準塗装品					
商品費		100	m	6,710	671,000	金網:ポリ被覆線
組立工事費		100	m	2,430	243,000	ご参考
基礎工事費	□180×180×450	100	m	2,310	231,000	ご参考
合計					1,145,000	

※の欄は、記入の必要がありません。

## 概要説明書(その6)

新技術の名称	J-PETフェンス	※登録No.	2402005A
施工単価	<input type="radio"/> 歩掛りなし <input checked="" type="radio"/> 歩掛りあり	(歩掛り種別)	<input checked="" type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> 暫定 <input type="radio"/> 協会 <input type="radio"/> 自社
施工方法	付属施設	事後評価未実施	
<p>①測量 ・設置場所を測量し、支柱間隔を柱芯々2mで割り付ける。</p> <p>②掘削 ・基礎ブロックが設置可能なところまで掘削を行う。</p> <p>③基礎設置 ・境界位置に気を付けて基礎ブロックを正しい位置に水平・垂直及び通りに注意し埋め戻し設置。</p> <p>④建柱 ・柱間隔・水平・垂直及び通りに十分注意して基礎ブロック内に建て込みモルタルで固定する。</p> <p>⑤爪付胴縁取付 ・モルタル硬化の確認後、支柱の上下に爪付胴縁を固定し骨組みを完成する。</p> <p>⑥金網・番線張り ・爪付胴縁に仮掛けして金網に番線を通す。番線を通したら本掛けして付属の止金具とBNを柱に締込み、番線・金網に緊張をもたせて完成</p>			
残された課題と今後の開発計画			
①課題 特になし			
②計画 特になし			
施工実績	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
福岡県が発注した工事	件	/	
他の公共機関が発注した工事	件		
民間等が発注した工事	16 件		

※の欄は、記入の必要がありません。

## 概要説明書(その7)

新技術の名称	J-PETフェンス			※登録No.	2402005A
特許・実用新案					番 号
特 許	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> 出願中	<input type="radio"/> 出願予定	<input checked="" type="radio"/> なし	
実用新案	<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> 出願中	<input type="radio"/> 出願予定	<input checked="" type="radio"/> なし	
他の機関による 評価・証明	証明機関				
	制度名				
	番号				
	評価等年月日				
	証明等範囲				
	URL				
添付資料					
<p>○実験資料等 既存商品に対する製造成分(被覆材)の提案申請の為、特にありません。</p> <p>○積算資料等 付属施設 説明書5に記載同様 <span style="float: right;">事後評価未実施</span></p> <p>○施工管理方法資料等 説明書6に記載同様</p> <p>○出来形管理方法資料 特にありません。</p> <p>○その他 NETIS登録番号 KT-180109-A</p>					
参考資料					
<p>カーボンニュートラルに向けて(リーフレット) J-PETフェンスリーフレット Vネットフェンス組立説明書 VA5PET型H1200の標準図面(PDF) 材料仕様書</p>					

※の欄は、記入の必要がありません。

概要説明書(その8)

新技術の名称 J-PETフェンス ※登録No. 2402005A

概要図、写真等

再生PET樹脂被覆鉄線仕様で環境にやさしいフェンス

# J-PETフェンス

国土交通省新技術情報提供システム **NETIS登録商品**  
No.KT-180109-A 新技術名称: 再生PETフェンス

「PETボトル協議会認定・リサイクル推奨マーク商品」  
認定番号200827028  
再生PET樹脂被覆鉄線

**エコマーク商品として認定されました**

エコマーク商品  
22 131 001  
JFE建材株式会社

V-5PET型

エコマーク認定書

**J-PETフェンスによる環境への貢献** (2022年3月末時点)

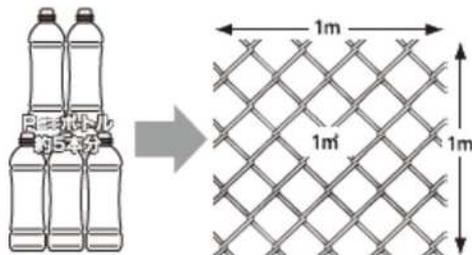


**再生PET樹脂被覆鉄線**

飲料水等の容器で使われるペットボトルを原料とした樹脂を被覆材に再生利用しました。

金網1m<sup>2</sup>あたりPETボトル(500ml)約5本分の再生樹脂が被覆材として使用されています。

※金網50mm目、外径φ3.2、心線径φ2.3の場合



※の欄は、記入の必要がありません。

## 概要説明書(その9)

新技術の名称		J-PETフェンス		※登録No.	2402005A	
施工実績一覧						
区分	発注者	地域機関名	施工時期	工事名	CORINS登録No.	
県内における施工実績	民間		2024.4	久山宅地造成工事		
	民間		2024.5	マルキョウ警弥郷店フェンス工事		
	民間		2024.6	日本ヒューレックス直方工場外構工事		
	民間		2024.7	三井化学黒崎工場外構工事		
	民間		2024.8	ヤマト運輸小倉西港営業所フェンス工事		
	民間		2024.9	福岡競艇場駐車場改修工事		
	民間		2024.9	福岡トヨタ販売外周フェンス工事		
	民間		2024.9	LIXIL福岡倉庫外構改良工事		
	民間		2024.11	ジェコス福岡工場フェンス工事		
県外における施工実績	民間		2024.4	大分市屋山こども園フェンス設置工事		
	民間		2024.5	三菱ケミカル熊本工場外構工事		
	民間		2024.6	臼杵造船社宅フェンス工事		
	民間		2024.7	佐賀銀行芦刈出張所フェンス設置工事		
	民間		2024.7	南九州マルキガス外構改良工事		
	民間		2024.8	スポーツデポ佐世保店フェンス工事		
	民間		2024.8	宮崎産業外構補修工事		

※の欄は、記入の必要がありません。